

社会福祉法人日本国際社会事業団  
2023年度第395回 理事会 議事録

1. 開催日時  
2023年9月14日（木曜日） 18時30分から20時30分まで
2. 開催場所  
オンラインにて開催
3. 出席者  
理事（総数6名 出席6名）永坂哲、石川美絵子、篠原敏夫、長島弘征、畑山篤、  
小豆澤史絵  
監事（総数2名 出席2名）山本一雄、田多晋  
事務局（1名）櫻井環
4. 欠席者  
なし
5. 議長  
理事長 永坂哲
6. 議事録作成者  
櫻井環
7. 決議に特別の利害関係を有する理事  
該当者なし
8. 議題
  - (1) 報告事項  
報告第1号：理事長および業務執行理事の職務執行状況の報告
  - (2) 議題  
第1号：予算の変更について  
第2号：ファンドレイジングについて  
第3号：評価シートの導入について
9. 理事会の議事の経過の要領及びその結果  
18時30分、理事総数6名のところ、6名の出席により理事会が成立していること

を確認後、石川常務理事が開会を告げた。その後、出席理事の互選により議長の選出を行い、永坂議長長が議長に就任した。

また、石川常務理事から、理事会の招集通知において、決議事項に特別の利害関係を有する理事が存するかを確認した結果、本日の議案について該当する理事はいない旨が報告された。

(1) 報告第1号：理事長および業務執行理事の職務執行状況の報告

石川常務理事から、職務執行状況についての以下の説明があった。

(2) 第1号：予算の変更について

石川常務理事より、第1号議案の予算の変更について、説明があった

永坂議長 本件につきまして、何かご質問がありますか。

石川理事 予算案で設定した数値目標に、6月の時点で達していない事業があります。予算案と実態に大きな乖離がある場合に、現時点で変更をする必要があるのではと考え、本議案を提案しました。

山本監事 実際に手が足りなくて、業務がまわらないというのであれば、計画として検討していく必要があると思います。

畑山理事 予算を変えても赤字にならず、運営に支障がないのであれば変更してもいいだろうがそこはどうでしょうか。

長嶋理事 事業計画そのものに乖離があれば見直したほうがいいが、事業内容そのものに大幅に変更はない場合、良いのではないのでしょうか。

永坂議長 もし、実際の数値に乖離ができてしまった場合は、その差の理由を説明できるのであれば、そのままでもいいと思います。実際の計画と実施状況が異なってしまうことは、ISSJが社会情勢に対して迅速に対応しているということでもあるので、説明がつくはずです。

石川理事 事業によっては、必ずしも社会の情勢だけが要因ではありません。

篠原理事 石川理事からの説明では、計画から乖離してしまう原因が判明しているのであれば、年度末までに対応もできるので、予算の変更はなくてもいいと思います。

山本監事 養子縁組事業に関する件数や申込数が前年度より少なく、計画通りに遂行されなかったとしても、そもそも予算は前年度の実績をベースにして予算をたてたもの。補正予算はせず、年度末に差異について報告ができれば良いと思います。

永坂議長 人手が足りない中で予算を見直す作業にあてるのであれば、寄付のお願いなど、収入面で前向きな取り組みを増やしていくほうが良いのではないのでしょうか。

永坂議長 第1号議案2024年度予算の変更について他に質問などないようでしたら、お諮りしたいと思います。予算の変更は行わないということによろしいで

しょうか？

(賛成者多数)

永坂議長 第1号議案については、予算を変更しないということとします。

(3) 第2号：ファンドレイジングについて

石川常務理事から、第2号議案資料にもとづきファンドレイジング資料について説明があった。

永坂議長 本件につきまして、何か質問がありますでしょうか。

永坂議長 このISSJの紹介資料を使って、寄付の呼びかけに力を入れていきたいです。寄付金収入の予算を達成するために、下半期の法人・個人の会員集めに力を入れていきたいと思っています。

永坂議長 紙資料があると説明しやすいので、ぜひ理事に配布してください。

山本監事 資料の内容についてですが、何のために寄付が必要で、どのように使われるのかより明記されていた方がいいと思います。

田多監事 事業ごとのパンフレットをつくって、渡す人ごとに違うものを渡すというのでしょうか。また、支援内容のエピソードもあるとイメージしやすいと思います。

小豆澤理事 移住者の支援の場合でも、どのように使われるのかわかった方が、伝わりやすいと思います。

山本監事 単発の寄付だと一回ごとという感じがあるが、会員だと継続的であると構えてしまう。寄付をした場合、税金だけではなく社会貢献をしているというメリットを伝えていけた方がいいと思います。

石川理事 とても大きな企業やスポンサーというイメージより、少額の寄付でも一つ一つの寄付のお願いや積み重ねを大切にしていければ、という想定でした。

山本監事 新規層の開拓を議論していく必要もあるのではないかと。Youtubeで動画を流したり、ソーシャルメディアなどの活用も検討していく議論があるといいのでは。

永坂議長 ファンドレイジングについて他に質問などないようでしたら、第2議案について、承認いただけるということによろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

永坂議長 第2号は承認されたものと認めます。

(4) 第3号：評価シートの導入について

石川常務理事から、第3号議案について説明を行った。

永坂議長 本件につきまして、何か質問がありますでしょうか。

石川理事 厚労省のテンプレートを利用し、1年ごとに客観的に自分を振り返る機会をつくる予定です。能力評価シートは、厚労省のウェブサイトのもので

「介護」のシートでレベル別のものをカスタマイズしたいと思っています。

- 畑山理事 この評価を報酬などに反映させる予定ですか。
- 石川理事 できれば反映させたいですが、人件費は補助金の範囲内でしか支給できないので大幅な変更はできないと考えています。一方で、評価によって給料が変化しない場合、職員のモチベーション低下の要因にもなり得ると思います。
- 畑山理事 評価される側は、本人としてはここまではできるようになっている、本当はもっとやらなくてはいけないことはこれだ、など、自分の認識と評価を認識するプロセスが大事だと思います。
- 石川理事 この評価シートを導入する場合、評価する側のスキルも求められます。しかし、これまでこのような評価制度や規定がないことが続いていましたので、制度化を先延ばしにせず体制をつくることが重要だと思います。
- 田多監事 体制をつくる動きについて、つくるのも大変だし、実際に評価がはじまった場合、評価に不満をもつこともあります。実際に運用していくのは困難もあると思います。
- 山本監事 シンプルな形であっても、まずはスタートすることが意味のあるものだと思います。
- 石川理事 では、評価シートはつくるということで、準備します。
- 永坂議長 第3号：評価シートの導入について、他に質問などないようでしたら、第3議案について、承認いただけるということでよろしいでしょうか。
- (異議なしとの声あり)
- 永坂議長 第3号は原案のとおり議決されたものと認めます。
- 永坂議長 その他にご意見、ご質問等はございませんか。よろしいでしょうか。本日の議題は全て終了しました。これをもちまして、本日の理事会を閉会させていただきますと存じます。本日はありがとうございました。

2023年9月14日

議事録署名人

理事長 永坂 哲

監 事 山本 一雄

監 事 田多 晋

